

概ね10分程度で回答できるアンケート調査です。
調査結果を京都市政の更なる推進のために活用いたします。

京都市市民生活実感調査にご協力ください

皆様におかれましては、京都市政にご理解とご協力をいただき、心から御礼申し上げます。

このアンケート調査は、市民の皆様が、日々の暮らしの中で、京都のまちづくりについて「どのような実感をお持ちなのか」を調査するものです。

(市内にお住まいの方から無作為に選んだ20歳以上の3,000人の方にご回答をお願いしています。)

調査結果は、貴重なデータとして、京都市の政策評価※や市の仕事をより効果的に進めるために活用させていただきます。

また、市民の皆様にも利活用いただけるよう、自由記述を除いて公開させていただきます。ただし、アンケートは無記名ですので、個人が特定されることはありません。

ご多忙とは存じますが、何卒ご理解並びにご協力いただきますようお願いいたします。

平成30年5月

京都市長

門川 大作

※政策評価：政策の目的がどの程度達成されているかを評価し、市民の皆様にお示しするとともに、政策、施策の推進に役立てる仕組み

5月28日（月）までに、下記のいずれかの方法でお答えください。

(アンケート調査をお願いしたご本人(封筒の宛先となっている方)によるご回答をお願いします。)

1 郵送による回答

- ① 2ページの記入方法を参考に、3ページから11ページの「市民生活実感調査票(郵送による回答)」に、ご記入ください。
- ② そのうえで、お手数ですが、同封の返信用封筒(切手不要)に入れて、上記期限までに投函をお願いいたします。

2 インターネットによる回答

12ページ(最終ページ)の「インターネットによる回答」をご覧いただき、記載の回答方法により、上記期限までに回答をお願いいたします。

この調査に関するお問い合わせは、下記までお願いいたします。

京都市総合企画局市長公室 「市民生活実感調査担当」

〒604-8571 京都市中京区寺町通御池上る上本能寺前町488番地

電話：075-222-3035

FAX：075-213-1066

アンケート調査票は設問数が多いため、2つに分けて実施しています。

すべての設問は下記ホームページからご覧いただくことができます。

「市民生活実感調査」ホームページ [京都市 市民生活実感調査](http://www.city.kyoto.lg.jp/menu5/category/69-17-2-3-0-0-0-0-0.html)

検索

<http://www.city.kyoto.lg.jp/menu5/category/69-17-2-3-0-0-0-0-0.html>

記入方法

- 3ページから11ページの「市民生活実感調査票（郵送による回答）」に、ご記入ください。
- アンケート調査票、返信用封筒には、お名前や住所を記入していただく必要はございません。
- アンケートは「生活実感」、「政策重要度」、「京の花に関するアンケート」、「市政関心度」、「幸福実感」、「自由記述」、に分かれています。

生活実感 (3ページから 6ページ)	質問ごとに、あなたの実感やイメージに基づき、5つの選択肢の中から1つ選んで○を付けてください。 質問内容について、実感やイメージがわからない場合は、空欄のままにしておいてください。
政策重要度 (7ページから 8ページ)	質問ごとに、あなたにとって今、それぞれの政策分野がどれだけ重要なか、5つの選択肢の中から1つ選んで○を付けてください。
京の花に関する アンケート (9ページ)	本市の施策を推進するため、特別に実施する調査です。平成30年度は、京の花に関するアンケートを実施します。各設問の指示に基づき、ご回答ください。
市政関心度 (10ページ)	市政の関心度について、1つ選んで○を付けてください。
幸福実感 (10ページ)	幸福に関する実感について、1つ選んで○を付けてください。
自由記述 (10ページ)	市に望むこと、アンケートに関することについて、ご意見・ご提案がございましたらご記入ください。

記入例

実感やイメージでお答えください。

分からぬ場合は何も記入して
いただかなくて結構です。

質問		選択肢				
環境	質問内容について、実感やイメージがわかない場合は、空欄のままにしておいてください。)	○ そう思う	どちらか というと そう思う	どちら とも 言えない	どちらか というと そう 思わない	そう 思わない
		a	b	c	d	e
Q1.	京都の子どもたちは、山紫水明の自然環境をかけがえのないものと実感している。	a	b	Ⓐ	c	e
Q2.	省エネや省資源に取り組むひとや、徒歩、自転車、公共交通機関を利用するひとが増えている。	a	b	Ⓒ	d	e
Q3.	マイバッグやリサイクル製品など、ごみを出さないようなくらしと事業活動が広がっている。	a	b	c	d	e
Q4.	ごみを分別して出せる拠点が身近にあり、ごみのリサイクルが進んでいる。	Ⓐ	b	c	d	e

京都市市民生活実感調査票（郵送による回答）

【生活実感】

質　　問		選 択 肢				
		どちらか そう思う	どちらか というと そう思う	どちらか とも 言えない	どちらか といふと そう思はない	そ う 思 わ い
環境	Q 1. 京都の子どもたちは、山紫水明の自然環境をかけがえのないものと実感している。	a	b	c	d	e
	Q 2. 省エネや省資源に取り組むひとや、徒歩、自転車、公共交通機関を利用するひとが増えている。	a	b	c	d	e
	Q 3. マイバッグやリサイクル製品など、ごみを出さないようなくらしと事業活動が広がっている。	a	b	c	d	e
	Q 4. ごみを分別して出せる拠点が身近にあり、ごみのリサイクルが進んでいる。	a	b	c	d	e
人権・ 共同参画 男女	Q 5. いきいきと活動して自分の能力を發揮する場所や自分に合った働き方を見つける機会がある。	a	b	c	d	e
	Q 6. 女性も男性も、仕事と生活（家庭や地域活動など）をバランスよく充実できる社会になってきている。	a	b	c	d	e
青少年の成長と参加	Q 7. 青少年が社会の幅広い分野にかかわり、意見や活力が生かされている。	a	b	c	d	e
	Q 8. 青少年がニート※、不登校などの課題に直面したときに信頼して相談できるところがあり、支援がされている。 <small>※仕事も家事も通学もしていない15歳から概ね34歳までの方</small>	a	b	c	d	e
市民生活と 文化	Q 9. 町内会、自治会など地域の組織の活動が盛んである。	a	b	c	d	e
	Q 10. 地域のひとが、環境や子育て、青少年の育成などの地域の課題に、自分たちで取り組んでいる。	a	b	c	d	e
	Q 11. 町内会、自治会などの地域の組織の主体的な活動と、それに対する行政の支援とがうまくかみ合っている。	a	b	c	d	e
市民生活の 安全	Q 12. 犯罪や事故など万が一のことがあっても、お互いに助け合えるまちである。	a	b	c	d	e
	Q 13. 事故や犯罪を防ぐための自治会や警察、京都市などの取組により、安全にくらせるまちになっている。	a	b	c	d	e
文化	Q 14. 市民の生活に文化芸術がとけ込んでいる。	a	b	c	d	e
	Q 15. 文化財が社会全体で大切にされ、地域の活性化にもつながっている。	a	b	c	d	e

質　　問		選 抹 肢				
		どう思う	どちらか というと そう思う	どちらか とも 言えない	どちらか というと そう 思わない	そ う 思 わ ない
1 ス ツ ポ	Q16. プロスポーツやトップレベルのスポーツに身近に触れる機会がある。	a	b	c	d	e
産業・商業	Q17. 京都では、さまざまな企業や産業の活動が互いに刺激し合って発展している。	a	b	c	d	e
	Q18. 京都の特色を生かした産業活動が行われている。	a	b	c	d	e
	Q19. 京都では、産業界・大学・行政などが連携して、企業の誘致や事業環境の整備を進めている。	a	b	c	d	e
	Q20. 京都の卸売市場は、安全・安心な生鮮食品の提供に役立っている。	a	b	c	d	e
観光	Q21. じっくり滞在し、ほんものとふれあい、歩いて楽しむ観光客が増えている。	a	b	c	d	e
	Q22. 京都市民は、四季折々の京都観光を楽しんでいる。	a	b	c	d	e
	Q23. 子ども連れの家族や若者、ビジネス客など、新たな京都ファンが増えている。	a	b	c	d	e
	Q24. 京都は、国際会議などが盛んに開かれる MICE [※] 都市になってきている。 ※企業のミーティング、企業研修旅行、国際会議、イベントなどの総称	a	b	c	d	e
農林業	Q25. 京都の農林業は、環境に負荷をかけない栽培の取組や森林の整備を通して、地域社会に役立っている。	a	b	c	d	e
大学	Q26. 京都では、世界から留学生や研究者が集まり、国際社会で活躍する人材が育っている。	a	b	c	d	e
	Q27. 学生は、京都において社会で活躍する力を養い、そのパワーで京都のまちを活性化している。	a	b	c	d	e
国際化	Q28. 京都には、世界から観光、留学、ビジネス等を目的として訪れるひとびとを引き寄せる魅力と、受入環境がある。	a	b	c	d	e
	Q29. 国籍、民族、文化等が違っても互いに理解し合い、ともにいきいきとくらせるまちになっている。	a	b	c	d	e
子育て支援	Q30. 子どもの見守り活動など、身近な地域で子どもとの交流や子育て支援の取組が進んでいる。	a	b	c	d	e
	Q31. 必要なときに健康相談を受けたり、病院に行けたり安心して子どもを生み育てることができる。	a	b	c	d	e
	Q32. 子どもたちが安心して過ごせる居場所や遊び場が身近にある。	a	b	c	d	e

質　　問		選 抹 肢				
		どちらか そう思う	どちらか というと そう思う	どちらか とも 言えない	どちらか というと そう 思わない	そ う 思 わ い
障害者福祉	Q33. 障害のあるひとが、みずから必要な福祉サービスを選択し利用することで、住み慣れた地域でくらしやすくなっている。	a	b	c	d	e
	Q34. 働く場で、障害のあるひとがいきいきと働く姿を多く見かけるようになっている。	a	b	c	d	e
地域福祉	Q35. 地域福祉活動などのボランティア活動に参加しやすい地域づくりが進んでいる。	a	b	c	d	e
	Q36. 地域のつながりが、福祉活動や防犯・防災の取組に役立っている。	a	b	c	d	e
高齢者福祉	Q37. 高齢者が敬われ、心身ともに健康で充実したくらしを送られている。	a	b	c	d	e
	Q38. 介護サービスや住環境整備などが充実し、高齢者が住み慣れた地域でそのひとらしいくらしを送られている。	a	b	c	d	e
保健衛生・医療	Q39. 正しい情報を基に、健康づくりに取り組む人が増えている。	a	b	c	d	e
	Q40. 安心して食べられる食品が手に入るなど、衛生的な生活環境が整っている。	a	b	c	d	e
	Q41. 感染症や食中毒等の健康危機に対し、安全と安心が確保されている。	a	b	c	d	e
学校教育	Q42. 安全快適な学校施設や最新の設備など、充実した教育環境が整っている。	a	b	c	d	e
	Q43. 子どもたちが参加できる様々な学びやスポーツ、体験活動の機会がある。	a	b	c	d	e
生涯学習	Q44. 京都には、大学や博物館、神社仏閣、企業、NPOなどが提供する学習機会が豊富にある。	a	b	c	d	e
	Q45. 地域での取組において、幅広い世代がともに学べる機会が充実している。	a	b	c	d	e
歩くまち	Q46. 京都では、過度な自動車利用を控え、歩くことを中心としたライフスタイル（くらし方、生き方）が大切にされている。	a	b	c	d	e
	Q47. 京都での移動には公共交通が便利である。	a	b	c	d	e
	Q48. まちなかや観光地において、自動車による渋滞が減っている。	a	b	c	d	e

質　　問		選 抹 支				
		どちらか そう思う	どちらか というと そう思う	どちらか とも 言えない	どちらか というと そう 思わない	そ う 思 わ い
都市機能	Q49. 田の字地域※や京都駅の周辺は、にぎわいのある魅力的な地域である。 ※河原町通、烏丸通、堀川通、御池通、四条通、五条通の幹線道路沿道地区	a	b	c	d	e
	Q50. 京都のまちの南部地域が発展してきている。	a	b	c	d	e
	Q51. 身近な地域が魅力的になっている。	a	b	c	d	e
景観	Q52. 身近に誇りや愛着を持つる町並みや風景がある。	a	b	c	d	e
	Q53. 大通りや歴史的地区から電柱が取り除かれ、美しい公共空間が増えている。	a	b	c	d	e
建築物	Q54. 建物を新築するときは、建築ルールが守られている。	a	b	c	d	e
	Q55. 地震や火災に強い建物が増えている。	a	b	c	d	e
住宅	Q56. 長く大切に使える住宅が増えている。	a	b	c	d	e
	Q57. 身近な地域で空き家が減っている。	a	b	c	d	e
道と緑	Q58. 災害時も安全に移動できる道路網ができている。	a	b	c	d	e
	Q59. 市内の道路や橋が、市民の財産として、よい状態で管理されている。	a	b	c	d	e
消防・防災	Q60. 身近なところで防火意識が高まり、出火防止の取組が進んでいる。	a	b	c	d	e
	Q61. 消防署は、火災や事故などが発生した場合に適切に対応し、いざというときに頼りになる。	a	b	c	d	e
	Q62. 応急手当の知識や技術を備えたひとが増えている。	a	b	c	d	e
<暮らしの水>	Q63. 大雨が降っても、身近な地域で浸水の被害は起こっていない。	a	b	c	d	e
	Q64. 水道水がおいしくなるなど、京都の上下水道サービスは向上している。	a	b	c	d	e
	Q65. 水や水辺環境が大切にされるなど、水と共に生きる意識が高まっている。	a	b	c	d	e

【政策重要度】

京都市では、次のような各分野の政策に取り組んでいます。

それぞれの政策分野が、現在のあなたにとって、どれだけ重要ですか。

5つの選択肢の中から1つ選んで○を付けてください。

分野・政策名 ※ カッコ内は、京都市基本計画の各政策分野でめざす方向性を示すキャッチフレーズです。	選 択 支				
	重要である	どちらかというと重要である	どちらとも言えない	どちらかというと重要ではない	重要ではない
1 環境 [自然環境を気遣う「環境にやさしいまち」をめざす]	a	b	c	d	e
2 人権・男女共同参画 [ひとりひとりが尊重される社会をめざす]	a	b	c	d	e
3 青少年の成長と参加 [若き市民とともに未来の京都を築く]	a	b	c	d	e
4 市民生活とコミュニティ [住民同士がつながり、おもいやり、地域のみんなで築くくらしやすいまちをめざす]	a	b	c	d	e
5 市民生活の安全 [地域が支え合う、だれもが安心してくらせるまちをめざす]	a	b	c	d	e
6 文化 [世界的な文化芸術都市として創生することをめざす]	a	b	c	d	e
7 スポーツ [スポーツやレクリエーションに親しむ機会に恵まれたまちをめざす]	a	b	c	d	e
8 産業・商業 [新たな価値をつくる都市をめざす]	a	b	c	d	e
9 観光 [いよいよ旅の本質へ 世界が共感する観光都市をめざす]	a	b	c	d	e
10 農林業 [ひとと生命と環境を育む京の農林業をめざす]	a	b	c	d	e
11 大学 [大学の集積が都市の活力を支え高めるまちをめざす]	a	b	c	d	e
12 国際化 [住むひとにも、訪れるひとにも魅力的な国際都市をめざす]	a	b	c	d	e
13 子育て支援 [市民ぐるみ・地域ぐるみで子どもを共に育むまちづくりを進める]	a	b	c	d	e

分野・政策名 ※カッコ内の説明は、京都市基本計画の各政策分野でめざす方向性を示すキャッチフレーズです。	選 択 肢				
	重要である	どちらかというと重要である	どちらとも言えない	どちらかというと重要ではない	重要ではない
14 障害者福祉 [障害のあるひともないひとも、すべてのひとが違いを認め合い、支え合うまちづくりを推進する]	a	b	c	d	e
15 地域福祉 [自治・協働により自立を実現し、地域の福祉力をつむぎ、高める]	a	b	c	d	e
16 高齢者福祉 [「健康長寿のまち・京都」をみんなでつくる]	a	b	c	d	e
17 保健衛生・医療 [いきいきと健やかな「笑顔・健康都市」京都を実現する]	a	b	c	d	e
18 学校教育 [市民ぐるみで子どもたちに「生きる力」を育むまちをつくる]	a	b	c	d	e
19 生涯学習 [まち全体をまなびやに 大人も子どもも学び育つまちをつくる]	a	b	c	d	e
20 歩くまち [ひとと公共交通優先の「歩くまち・京都」の実現を図る]	a	b	c	d	e
21 土地利用と都市機能配置 [地域ごとに魅力があり、持続的な都市活動を支えるエコ・コンパクトな都市をつくる]	a	b	c	d	e
22 景観 [1200年の歴史・文化を実感でき、世界のひとびとを魅了し続けるまちとなる]	a	b	c	d	e
23 建築物 [建築物の安全の確保と質の向上で、ひとにやさしく、安心なまちをつくる]	a	b	c	d	e
24 住宅 [ひとがつながる 未来につなぐ 京都らしいすまい・まちづくりを継承・発展させる]	a	b	c	d	e
25 道と緑 [風土や歴史と調和した道と緑を創造する]	a	b	c	d	e
26 消防・防災 [災害に強く安心して住み続けられる「安心都市・京都」をめざす]	a	b	c	d	e
27 くらしの水 [ひと まち くらしを支える京の水をあずへつなぐ]	a	b	c	d	e

【京の花に関するアンケート】

京都市では花と縁のある心豊かな市民生活の実現に向けて「京の花」文化の継承・普及とともに花関連産業全体の振興を図っています。花を飾る、贈る、供えるといった花の魅力発信について今後の参考にさせていただきたいため、以下のアンケートに御協力をお願い致します。

設問1 過去1年間の花（切り花、鉢花）の購入について、当てはまるもの全てに○を付けてください。

- a. 自宅用に購入した b. 贈り物用に購入した c. 購入しなかった

◆設問1で、「a. 自宅用に購入した」を選択された方に、お聞きします。

2 過去1年間での、花の購入頻度について、1つ選び○を付けてください。

- a. 年に1～3回程度 b. 月に1～3回程度 c. 週に1回以上 d. ほぼ毎日

3 花を購入された目的について、当てはまるもの全てに○を付けてください。

- a. 自宅の空間を飾るため b. 生け花やフラワーアレンジメントなどの趣味・習い事
c. 祭事（お祭り）や節句（ひな祭り等）のお飾り（具体的に）
d. 神棚・仏壇などのお供え e. ガーデニング f. その他（）

4 花を飾る場所について、当てはまるもの全てに○を付けてください。

- a. 玄関（屋内） b. 玄関（屋外） c. リビング d. 食卓（ダイニング）
e. 神棚・仏壇 f. 床の間 g. トイレ h. その他（）

5 花を購入された場所について、当てはまるもの全てに○を付けてください。

- a. お花屋さん b. 園芸専門店 c. スーパー d. ホームセンター
e. 百貨店 f. インターネット g. その他（）

6 花の価格について、いくら位の値段で購入されることが多いか、1つ選び○を付けてください。

- a. 500円以下 b. 501円～1,000円 c. 1,001円～3,000円
d. 3,001円～5,000円 e. 5,001円～10,000円 f. 10,001円以上

◆設問1で、「b. 贈り物用に購入した」を選択された方に、お聞きします。

7 過去1年間での、花の購入頻度について、1つ選び○を付けてください。

- a. 年に1～3回程度 b. 月に1～3回程度 c. 週に1回以上 d. ほぼ毎日

8 花を購入された機会について、当てはまるもの全てに○を付けてください。

- a. 母の日 b. 父の日 c. 誕生日 d. 結婚記念日 e. バレンタインデー^イ
f. 入学祝い g. 卒業祝い h. お見舞い i. その他（）

9 花を購入された場所について、当てはまるもの全てに○を付けてください。

- a. お花屋さん b. 園芸専門店 c. スーパー d. ホームセンター
e. 百貨店 f. インターネット g. その他（）

10 花の価格について、いくら位の値段で購入されるが多いか、1つ選び○を付けてください。

- a. 1,000円以下 b. 1,001円～3,000円 c. 3,001円～5,000円
d. 5,001円～10,000円 e. 10,001円～30,000円 f. 30,001円以上

【市政關心度】

あなたは京都市政に关心がありますか。次の中から1つ選び〇を付けてください。

1. 関心がある 2. 少しは関心がある 3. あまり関心がない
4. まったく関心がない 5. わからない

【幸福実感】

今、あなたは幸せだと思いますか。次の中から1つ選び〇を付けてください。

- | | |
|--------------|----------------------|
| 1. とても幸せだと思う | 2. どちらかというと幸せだと思う |
| 3. どちらとも言えない | 4. どちらかというと幸せではないと思う |
| 5. 不幸せだと思う | |

【自由記述】

市に望むこと、このアンケートに関するここと、その他何でも結構です。ご意見、ご提案がございましたら、ご記入ください。

(特に、アンケートで無回答、「そう思わない」又は「どちらとも言えない」とのご回答があった場合、その理由をお聞かせいただければ幸いです。)

◇最後に、あなたご自身のことについてお尋ねします。

次の①～⑤の各項目について、該当する番号を1つ選び〇を付けてください。

① 性 別

1. 男 2. 女

② 年 齢

1. 20歳代 2. 30歳代 3. 40歳代 4. 50歳代
5. 60歳代 6. 70歳代 7. 80歳以上

③ 職 業

1. 自営業・自由業 2. 会社員・公務員等給与所得者 3. 主婦・主夫
4. 学生 5. 無職 6. その他 ()

④ 居住区

1. 北区 2. 上京区 3. 左京区 4. 中京区 5. 東山区 6. 山科区
7. 下京区 8. 南区 9. 右京区 10. 西京区 11. 伏見区

⑤ 京都市での居住年数

1. 5年未満 2. 5～11年未満 3. 11～31年未満 4. 31年以上

アンケートはこれで終了です。ご協力ありがとうございました。

同封の返信用封筒に入れて5月28日（月）までに投函をお願いいたします。

これまでの政策評価結果は以下のホームページに掲載しています。

「政策評価制度」ホームページ

京都市 政策評価

検索

<http://www.city.kyoto.lg.jp/sogo/page/0000035589.html>



京都市の政策評価に関する御意見・御提案をお待ちしています。

◇ホームページ内の送信フォームによる受付

「市民意見申出制度」ホームページ

京都市 市民意見申出制度

検索

<http://www.city.kyoto.lg.jp/sogo/page/0000110785.html>



◇電話・FAXによる受付

京都市 総合企画局 市長公室 「市民生活実感調査担当」

TEL : 075-222-3035 FAX : 075-213-1066

インターネットによる回答（調査票 A）

- インターネットにより回答される方は、本調査票を返信いただく必要はございません。
- アンケート調査をお願いしたご本人（封筒の宛先となっている方）がお答えください。
- 回答フォームに、お名前や住所を記入していただく必要は一切ございません。
- 以下のホームページにアクセスし、調査票 A の回答フォームに入力をしてください。

＜回答フォーム＞

「市民生活実感調査（30年度）」ホームページにアクセスいただき、
「調査票A 回答フォーム」に入力ををお願いします。



京都市 市民生活実感調査 30年度 
<https://www.shinsei.elg-front.jp/kyoto/uketsuke/sform.do?id=1519891604483>

＜パスワード＞

右記の4桁のパスワードを入力
してください。

パスワードの入力がない場合、
回答を送信することができません
ので、御注意ください。
パスワードから個人が特定される
ことはございません。

パスワード

- 入力項目は以下のとおりです。

生活実感 (65項目)	質問ごとに、あなたの実感やイメージに基づき、5つの選択肢の中から1つ選んでください。 質問内容について、実感やイメージがわからない場合は、空欄のままにしておいてください。
政策重要度 (27項目)	質問ごとに、あなたにとって今、それぞれの政策分野がどれだけ重要なか、5つの選択肢の中から1つ選んでください。
京の花に関する アンケート (10項目)	本市の施策を推進するため、特別に実施する調査です。平成30年度は、京の花に関するアンケートを実施します。各設問の指示に基づき、ご回答ください。
市政関心度 (1項目)	市政の関心度について、1つ選んでください。
幸福実感 (1項目)	幸福に関する実感について、1つ選んでください。
自由記述 (1項目)	市に望むこと、アンケートに関することについて、ご意見・ご提案がございましたらご記入ください。